

平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月14日

上場会社名 株式会社 ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 2769 URL <http://www.village-v.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 白川 篤典

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 渡邊 正直

TEL 052-769-1150

四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第2四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	21,648	△1.6	△221	—	△246	—	△408	—
27年5月期第2四半期	21,990	8.6	279	—	295	—	66	—

(注) 包括利益 28年5月期第2四半期 △410百万円 (—%) 27年5月期第2四半期 111百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第2四半期	△53.06	—
27年5月期第2四半期	8.59	8.57

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	34,171		11,688			34.1
27年5月期	32,698		12,212			37.2

(参考) 自己資本 28年5月期第2四半期 11,655百万円 27年5月期 12,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年5月期	—	0.00	—	14.00	14.00
28年5月期	—	0.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,885	1.9	245	△67.8	121	△84.8	△747	—	△97.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年5月期2Q	7,695,900 株	27年5月期	7,694,300 株
28年5月期2Q	— 株	27年5月期	— 株
28年5月期2Q	7,694,679 株	27年5月期2Q	7,693,629 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年6月1日～平成27年11月30日）におけるわが国経済は、政府による新たな経済政策の推進、金融緩和策の継続、円安傾向が持続する為替動向や原油価格の下落などにより、企業業績は成長をみせ、雇用情勢にも改善はみられるものの、中国経済の減速による日経平均株価の激しい値動きなど、不安定な側面もあり今後の動向が注視されております。

小売業界におきましては、景況感の改善に加え、訪日観光客の増加が消費の下支え効果として現れてはおりますが、一方で継続的な物価上昇に伴い、個人消費につきましては合理的・選別の傾向が強くなる状況であります。

このような状況の下、当社グループは、お客様の期待に応えるため、店舗ごとに独創的な空間を創出することにより、ワクワクする専門店集団をめざし、「新しい発見」や「買い物の楽しさ」をお客様に提供する事業活動を継続して行ってまいりました。店舗運営におきましては、新しいタイプの売り場づくりへの挑戦、業態別・店舗タイプ別の営業施策、POSを活用した商品施策の推進にとどまらず、アウトレット店舗における在庫商品の販売に取り組み、商品在庫の適正化を重点的に進めるとともに、マーケティング機能の充実によるコラボ商品企画、ディストリビューター制度の強化など、店舗運営におけるサポート体制の強化を図りつつ、販売費及び一般管理費の削減にも取り組んでまいりました。

店舗出店につきましては、インショップへの出店を中心に推進し、直営店11店を新規出店し、直営店11店を閉鎖しました。その結果、当社グループの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店534店、FC店12店の合計546店となりました。

このような事業活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては21,648百万円と前年同四半期と比べ342百万円の減収（1.6%減）となりました。利益面につきましては売上高の減少を補うべく、商品在庫の適正化、仕入コントロール等、原価率の改善に努めましたが、売上総利益は減少いたしました。営業費用については費用削減に取り組むものの、販売費及び一般管理費は増加した為、営業損失は221百万円（前年同四半期は279百万円の営業利益）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は408百万円（前年同四半期は66百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、平成27年7月15日に発表した平成28年5月期第2四半期（累計）の連結業績予想と実績値に差異が発生しております。理由としては、売上高については既存店昨対が予算を下回ったこと、連結子会社である株式会社チチカカにおきましてもセール販売を抑制した結果、計画未達で減少しました。一方で、販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益も当初予想値を下回ることとなりました。また、営業利益が当初予想値を下回ったことから、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も当初予想値を下回りました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーションは、お客様に買い物を楽しんでいただくため、今までになかった独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

各店舗では、書籍・SPICE（雑貨類）及びニューメディア（CD・DVD類）等の商材を融合させ、独自の「提案」を展開しております。

主な業態店舗としては、「遊べる本屋」をコンセプトにした「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、本格的なアメリカンハンバーガーを提供する飲食店「ヴィレッジヴァンガードダイナー」、食べるコトの楽しさを提案する「HOME COMING」、アウトレット業態「VintageVanguard等」などを運営しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は16,621百万円と前年同四半期と比べ444百万円の減収（2.6%減）となりました。在庫および仕入のコントロールによる原価率の改善、販売費及び一般管理費削減に努めましたが売上の減収分を吸収することはできず、営業損失は54百万円（前年同四半期は94百万円の営業利益）となりました。店舗数につきましては直営店4店の新規出店、直営店4店の閉鎖をし、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は直営店377店、FC店11店の合計388店となりました。

なお、平成27年7月15日に発表した平成28年5月期第2四半期（累計）の個別業績予想と実績値に差異が発生しております。売上高につきましては既存店昨対が予算を下回ったことに加えて、今期の移転・縮小店舗の影響による計画未達で当初予想値を下回りました。また、販売費及び一般管理費が増加したことから営業利益も当初予想値を下回り、その結果、経常利益、四半期純利益も当初予想値を下回りました。

②株式会社チチカカ

株式会社チチカカは、主にエスニック雑貨・衣料の企画販売を行っております。エスニックファッションの販売だけでなく、「世界の文化を伝えること」を使命と考え、お客様と生産者の「HAPPY」をつなげることを「HAPPY TRADE」と名付け、世界の仲間と共に成長することを心がけております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高はセール販売を控えた影響もあり、4,493百万円と前年同四半期と比べ15百万円の減収（0.4%減）となりました。一方、粗利率は為替影響もあり、仕入のコントロールに取組んだものの悪化し、販売費及び一般管理費も増加したため、営業損失が127百万円（前年同四半期は225百万円の営業利益）となりました。なお、店舗数につきましては直営店6店の新規出店、直営店4店の閉鎖をし、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店144店、FC1店の合計145店となりました。

③TITICACA HONGKONG LIMITED

TITICACA HONGKONG LIMITEDは香港において主にエスニック雑貨・衣料の企画販売を行っております。株式会社チチカカ同様、エスニックファッションの販売だけでなく、「世界の文化を伝えること」を使命と考え、お客様と生産者の「HAPPY」をつなげることを「HAPPY TRADE」と名付け、世界の仲間と共に成長することを心掛けております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は278百万円と前年同四半期と比べ39百万円の増収（16.5%増）となりました。営業利益は5百万円と前年同四半期と比べ19百万円の減益（77.8%減）となりました。なお、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店7店となっております。

④その他

その他は、株式会社Village Vanguard Webbedにてオンラインでの書籍・SPICE及びニューメディアの販売、Village Vanguard (Hong Kong) Limited及びVillage Vanguard (Taiwan) Limitedにて書籍・SPICE及びニューメディアの販売を行っております。

また、比利緹卡(上海)商贸有限公司は主にエスニック雑貨・衣料の企画販売を行っており、当社グループの生産拠点および、上海・天津にて直営店を3店舗運営しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は623百万円と前年同四半期と比べ197百万円の増収（46.4%増）となりました。営業損失は33百万円（前年同四半期は46百万円の営業損失）となりました。

なお、Village Vanguard (Hong Kong) Limitedにつきましては賃貸借契約条件や今後の店舗損益を考慮して順次、事業を撤退することを決定しており、Village Vanguard (Taiwan) Limitedにおいては2015年6月末をもって店舗を閉店いたしております。比利緹卡(上海)商贸有限公司につきましては、今後の事業損益を考慮して店舗事業を撤退することを決定しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.1%増加し、26,648百万円となりました。これは、現金及び預金が359百万円増加、受取手形及び売掛金が698百万円減少、商品が1,746百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%減少し、7,523百万円となりました。これは、建物及び構築物が66百万円、ソフトウェアが61百万円増加いたしましたが、工具、器具及び備品が90百万円、固定資産取得に係る仮勘定が43百万円、差入保証金が20百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.5%増加し、34,171百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.1%増加し、11,895百万円となりました。これは、買掛金が852百万円、短期借入金が290百万円、1年内返済予定の長期借入金が541百万円、株主優待引当金が176百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8.3%増加し、10,588百万円となりました。これは、長期借入金が511百万円、長期未払金が228百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9.8%増加し、22,483百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて524百万円減少し、11,688百万円となりました。これは、配当金の支払いが107百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失408百万円により利益剰余金が515百万円減少したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ379百万円増加し、当第2四半期連結会計期間には2,662百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（イ）営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は382百万円（対前年同四半期：308百万円の支出）となりました。これは、主に売上債権の減少額682百万円、仕入債務の増加額847百万円があったものの、たな卸資産の増加額1,743百万円があったためであります。

（ロ）投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は617百万円（対前年同四半期：982百万円の支出）となりました。これは、主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が485百万円あったためであります。

（ハ）財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は1,377百万円（対前年同四半期：2,440百万円の収入）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出が1,979百万円、配当金の支払額が106百万円あったものの、短期借入れによる収入が290百万円、長期借入れによる収入が3,032百万円あったためであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月15日の決算短信で公表いたしました連結・個別における、通期の業績予想に変更はありません。理由といたしましては、売上高は回復基調であること、仕入原価率・ロス額の改善、滞留在庫の消化が順調に進捗していることから、売上総利益は増加し、通期の業績予想を達成する見通しであるためです。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,302	2,662
受取手形及び売掛金	2,447	1,749
商品	19,911	21,658
繰延税金資産	14	13
その他	451	568
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	25,124	26,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,362	3,428
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	949	859
建設仮勘定	17	5
有形固定資産合計	4,330	4,294
無形固定資産		
ソフトウェア	249	311
ソフトウェア仮勘定	67	35
その他	2	2
無形固定資産合計	319	349
投資その他の資産		
長期前払費用	301	277
差入保証金	2,621	2,600
その他	0	0
投資その他の資産合計	2,923	2,879
固定資産合計	7,573	7,523
資産合計	32,698	34,171

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,706	4,558
短期借入金	900	1,190
1年内償還予定の社債	10	-
1年内返済予定の長期借入金	3,602	4,144
未払金	857	752
未払法人税等	209	131
未払消費税等	418	4
株主優待引当金	119	295
賞与引当金	130	167
資産除去債務	10	16
その他	737	633
流動負債合計	10,704	11,895
固定負債		
長期借入金	7,525	8,036
長期未払金	223	452
役員退職慰労引当金	286	303
退職給付に係る負債	212	229
資産除去債務	1,468	1,507
その他	64	59
固定負債合計	9,781	10,588
負債合計	20,485	22,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,242	2,243
資本剰余金	2,219	2,220
利益剰余金	7,628	7,112
株主資本合計	12,091	11,577
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	75	72
退職給付に係る調整累計額	4	5
その他の包括利益累計額合計	80	77
新株予約権	41	33
純資産合計	12,212	11,688
負債純資産合計	32,698	34,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
売上高	21,990	21,648
売上原価	12,035	11,857
売上総利益	9,955	9,791
販売費及び一般管理費	9,676	10,013
営業利益又は営業損失(△)	279	△221
営業外収益		
仕入割引	13	25
業務受託料	36	38
その他	29	24
営業外収益合計	79	88
営業外費用		
営業外支払手数料	0	39
支払利息	59	64
その他	2	9
営業外費用合計	62	113
経常利益又は経常損失(△)	295	△246
特別利益		
固定資産売却益	—	5
新株予約権戻入益	9	7
特別利益合計	9	12
特別損失		
固定資産売却損	—	11
固定資産除却損	20	47
減損損失	67	22
その他	6	—
特別損失合計	94	81
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	211	△314
法人税等	145	93
四半期純利益又は四半期純損失(△)	66	△408
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	66	△408

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	66	△408
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	46	△3
退職給付に係る調整額	△1	0
その他の包括利益合計	45	△2
四半期包括利益	111	△410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111	△410
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	211	△314
減価償却費	391	450
減損損失	67	22
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6	17
売上債権の増減額(△は増加)	106	682
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,982	△1,743
仕入債務の増減額(△は減少)	567	847
その他	393	△155
小計	△238	△192
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△59	△64
法人税等の支払額	△10	△126
営業活動によるキャッシュ・フロー	△308	△382
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	20
有形固定資産の取得による支出	△700	△485
無形固定資産の取得による支出	△38	△92
差入保証金の差入による支出	△166	△67
その他	△76	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△982	△617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	290
長期借入れによる収入	4,230	3,032
長期借入金の返済による支出	△1,600	△1,979
社債の償還による支出	△10	△10
長期未払金の増減額(△は減少)	△72	189
配当金の支払額	△106	△106
その他	△0	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,440	1,377
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,181	379
現金及び現金同等物の期首残高	1,618	2,282
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,800	2,662

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年6月1日至平成26年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結財務諸 表計上額 (注) 2
	㈱ヴィレッジ ヴァンガードコー ポレーション	㈱チチカカ	TITICACA HONGKONG LIMITED	その他 (注) 3			
売上高							
外部顧客への売上高	17,066	4,408	239	276	21,990	—	21,990
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	100	—	149	250	△250	—
計	17,066	4,509	239	425	22,241	△250	21,990
セグメント利益又は損失 (△)	94	225	25	△46	299	△20	279

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△20百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、Village Vanguard (Taiwan) Limited、比利緹卡（上海）商贸有限公司が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成27年6月1日至平成27年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結財務諸 表計上額 (注) 2
	㈱ヴィレッジ ヴァンガードコー ポレーション	㈱チチカカ	TITICACA HONGKONG LIMITED	その他 (注) 3			
売上高							
外部顧客への売上高	16,605	4,419	278	344	21,648	-	21,648
セグメント間の内部売上 高又は振替高	15	73	-	279	368	△368	-
計	16,621	4,493	278	623	22,017	△368	21,648
セグメント利益又は損失 (△)	△54	△127	5	△33	△209	△12	△221

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、Village Vanguard (Taiwan) Limited、比利緹卡（上海）商贸有限公司が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。